

札幌商工会議所 健康・文化部会

第38期(令和6年度) 事業計画

令和4年11月1日～令和7年10月31日
(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

I. 第38期 健康・文化部会の考え方

3. 「健康・文化部会」の第38期基本テーマ

健康寿命の延伸 ～「健康」で北海道経済を牽引する～

4. 健康・文化部会 基本テーマ「健康寿命の延伸」の背景

(1)健康寿命の定義

- ・「日常生活に制限のない期間の平均」(内閣府)
- ・「肉体的、精神的及び社会的に完全に良好な状態であり、単に疾病又は病弱の存在しないことではない」(WHO)

➡ 本部会では「肉体的、精神的、社会的に調和がとれた良好な状態」と定義

(2)健康寿命延伸のメリット

- ①労働人口の増加
- ②消費の拡大
- ③健康寿命延伸産業の創出
- ④地域における持続的なビジネスの創出
- ⑤地域の高齢者の活躍
- ⑥地域の活性化 等

経済の活性化

札幌商工会議所の基本方針を実現させるための手法の一つとして、健康寿命に着目。「健康・文化部会」としてアプローチできる事業を実施し、健康面から経済を支えていく。

I. 第38期 健康・文化部会の考え方

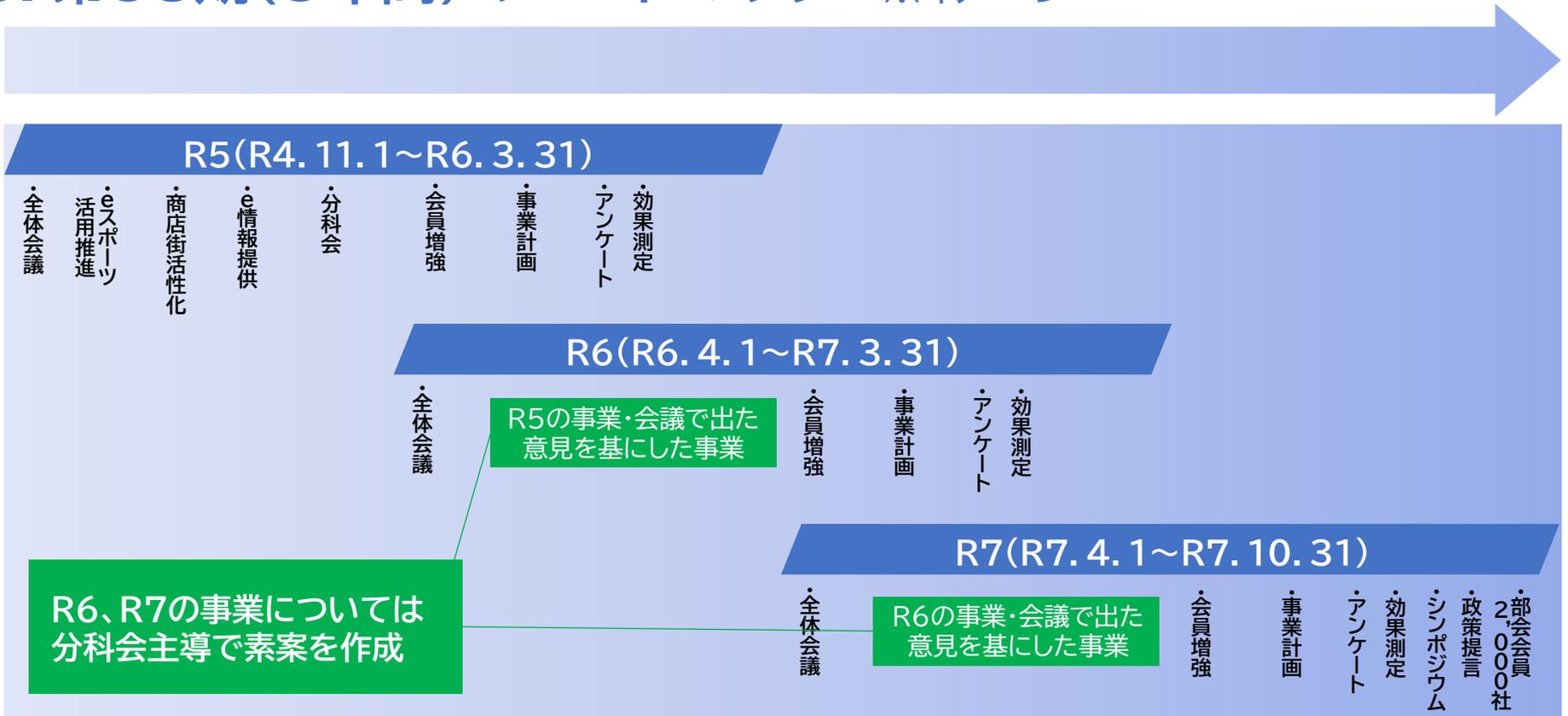
5. 札幌商工会議所第38期基本方針に沿った事業展開

札幌商工会議所 第38期基本方針		健康・文化部会としての取り組み
(1) 札幌の活力回復！	<ul style="list-style-type: none"> ① 飲食・観光分野の需要拡大 ② 国内外への販路拡大支援 ③ 部会・分科会活動の活発化による業界振興 ④ 起業の活発化・スタートアップ創出 	eスポーツ活用推進事業
(2) 中小企業の持続的発展に寄与！	<ul style="list-style-type: none"> ① 伴走型経営支援の強化 ② 事業承継・活性化支援 ③ デジタル化支援、カーボンニュートラル対応支援 ④ 人材確保・活用支援 ⑤ 人材育成支援 	健康経営推進に関わる情報提供事業
(3) 新たな札幌を築く！	<ul style="list-style-type: none"> ① 社会資本の整備促進、オリパラ開催 ② 政策提言活動の活発化 ③ 新たな成長分野の振興・札幌の新たな魅力創造 ④ 地域社会との協働 	「お仕事EXPO」、「ミニさっぽろ」
(4) 組織基盤強化	<ul style="list-style-type: none"> ① 会員維持・拡大 ② 会員サービスの拡充 ③ 当所事業活動の見える化推進・当所自体のデジタル化推進 ④ 商工会議所ネットワークの活用 	分科会活動の活性化(交流)
		所属会員2,000社を目指し会員増強



I. 第38期 健康・文化部会の考え方

6. 第38期(3年間)のロードマップ ※イメージ



「第38期基本テーマに基づいた3年計画」とし、令和7年度には、第38期の集大成として「健康寿命を考えるイベント」を開催。

I. 第38期 健康・文化部会の考え方

7. 第38期(3年間)のポイント

(1)担当副会頭

- ・大谷 喜一 副会頭 ※(株)アインホールディングス 代表取締役社長
- ・安田 光春 副会頭 ※(株)北洋銀行 取締役会長

(2)正副部会長の分科会担当割

※会員数はR6.3.31現在

部会長・副部会長	担当分科会	所属会員数	
		各分科会	全体
水戸部会長	介護サービス・福祉分科会	299社	1,708社
中村副部会長	医薬・化粧品分科会	234社	
	医療・医療サービス分科会	370社	
山川副部会長	スポーツ関連分科会	128社	
	教育・学習関連分科会	156社	
大塚副部会長	文化・芸能関連分科会	191社	
今田副部会長	娯楽用品分科会	330社	

I. 第38期 健康・文化部会の考え方

7. 第38期(3年間)のポイント

(3)部会の運営イメージ

業種を横断して意見交換できる部会

コロナ禍における様々な制限により、これまで同様の活動が出来ない一方で、各社の強みを生かし、新しいビジネスに繋げている事例もある。業種を横断して議論を交わし、所属会員がコロナ禍を乗り越え、**会員が主体となる活動** 出来るよう策を講じる。
部会を横断した活動も検討する。

所属会員が活動の主体となる部会

一部の会員だけの事業にならないように、多くの会員が参画できるような仕組みを構築する。活発な意見交換の場は分科会を活性化させ、分科会は部会を活性化させる。**会員が事業を通して、皆で経済活動ができるような部会** にする。

各分科会で会員増強

分科会活動の活性化のため、**部会全体で所属会員2,000社**を目指す。

(4)事業の企画立案

各分科会でアイデア募集

第38期基本テーマに沿って各分科会で実施できそうな事業について **分科会で話し合ってもらい、具体的な事業計画を作成** する。

Ⅱ. 健康・文化部会としての具体的な取り組み

1. eスポーツ活用推進事業

▼「eスポーツキャラバン(仮称)」の実施 **新規事業**

概要	学生に健康ゲーム指導に関する資格を取得してもらい、学生によるeスポーツ実施体験隊を立ち上げる。キャラバンは市内高齢者施設等に行ってシニアアクティビティを実施する。
目的	①eスポーツの実施主体に学生を入れることで、介護業界の関係人口増加と、業界に対する興味・関心を醸成し人材確保に繋げる。 ②当所で令和4年度から実施している「高齢者施設におけるeスポーツ導入」の経験を活かし、引き続き高齢者の認知症予防対策や非接触の交流・健康増進の場とする。

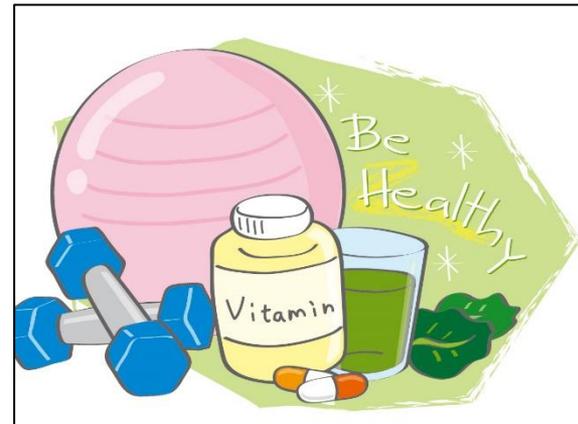


Ⅱ. 健康・文化部会としての具体的な取り組み

2. 健康関連産業交流事業

▼「ウェルネスライフ博覧会(仮称)」の開催 **新規事業**

概要	「健康寿命の延伸」に関わる商品・サービスを集め、複合型イベントを開催する。「展示会」、「体験会」、「セミナー」、「教室」、「物販」といった要素で構成する。
目的	①健康関連産業の振興・促進を図り、企業交流の場、また新規ビジネスのマッチングやアイデア発見の場とする。 ②展示や体験会を通して一般の方に健康関連産業の実態、将来性等について広く知ってもらうことで、地域課題を共有し、健康寿命延伸に対する意識を高める。



Ⅱ. 健康・文化部会としての具体的な取り組み

3. お仕事EXPOの開催

▼当部会のテーマ「職人技展～時を超える贈り物～(仮称)」

概 要	公共・文化・企業施設を一日だけ特別に夜間開放し、市民と行政、企業が一体となり地域文化を楽しく学ぶイベント「カルチャーナイト」に、令和5年度に引き続き参画。令和6年度は部会としてグループ参加する。
目 的	①知識、体験、知恵といった無形財産を若者に承継する場、また、世代を超えた交流の場とする。 ②参加企業が属する各業界の魅力が伝わるようなプログラムを展開し、主に未就学児や小学校低学年の、業界へ対する興味・関心を醸成する。



Ⅱ. 健康・文化部会としての具体的な取り組み

4. 横断的業界PR事業 新規事業

▼「カルチャーナイト2024」他

概	要	既存の市民向けイベントに部会として参画し、主にBtoCをビジネスモデルとした企業に協力してもらうことで、市民への認知度向上・PRを図る
目	的	生活関連商業部会、金融・サービス部会、健康・文化部会と連携して出展企業の募集や企業への周知を行うことで、BtoCだけでなくBtoBの需要拡大を図る。
参	加	①「カルチャーナイト2024」 ②「ミニさっぽろ2024」 ③「地元のシゴト ワク！WORK！」等

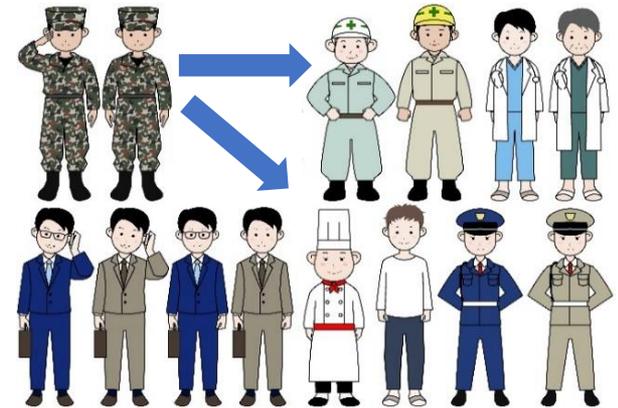


Ⅲ. その他の取り組み

1. 任期制自衛官向け業界研修・合同企業説明会への参加

慢性的な人材不足に悩む業界の魅力や、仕事内容を伝え即戦力となる人材確保へ繋げるため、退職前の任期制自衛官及び定年退職前の自衛官への教育研修へ講師派遣を行う。

目的	研修参加業界への理解促進と就業促進とミスマッチの解消。地元企業への就業促進。
対象	任期制自衛官(1期2年の任期を1～3期)及び定年予定の自衛官
開催時期	・任期制自衛官向け(業界研修)例年6月 / (企業説明会)例年7月 ・退職自衛官向け(業界研修)例年4月～翌年2月



IV. 政策提言活動

1. 全道商工会議所大会への要望提出

全道商工会議所大会(R6 岩見沢市)に向け、当部会からの要望事項を取り纏める。

要望先	要望事項
全 国 (国・道)	●教育バウチャーの導入について
国 (経済産業省、環境省、 国税庁)	●カーボンニュートラルに向けた投資促進税制の拡張・延長について
札幌市	●札幌市はり・きゅう・マッサージ施術料助成事業見直しの再検討について

2. 関係機関への要望活動及び意見交換

必要に応じて、所管官庁・自治体と業界振興策等について意見交換を行う。

V. 調査・研究

▼部会役員アンケート

業界課題や会員の要望等を把握するためアンケートを実施する。アンケート結果は、令和7年度事業計画に反映させる。

VI. 諸会議

▼正副部会長会議、正副部会長・正副分科会長会議等

正副部会長会議、正副部会長・正副分科会長会議、正副分科会長会議を開催し、部会・分科会の運営について協議する。

また、所属会員を対象とした分科会を開催し、広く会員企業の意見・要望を把握し、課題解決に繋げる。

1. 政策提言活動

(1) 公正取引委員会と11部会の意見交換会

原材料価格やエネルギー価格が高騰する中、公正な取引に向けた環境整備を推進するため、公正取引委員会等との意見交換会を実施する。

(2) 関係機関への要望活動及び意見交換

必要に応じて、所管官庁・自治体と業界振興策等について意見交換を行う。

2. 業界課題、意見・要望等の調査

業界課題や会員の要望等を把握するためアンケートを実施する。

3. 人材確保・活用支援

(1) 企業と学校(高校・大学・専門学校など)の連携強化

- ・短期職場体験(1日～3日間のインターンシップ)
- ・出張型企業説明会
- ・出張型職場体験 **新規事業**
- ・模擬面接サポート講師／企業講話講師の派遣 **新規事業**

(2) 多様な人材活躍推進

- ・ターゲットを絞ったミニ合同企業説明会
(新卒・中途・障がい者雇用・シニア・女性・外国人雇用など)
- ・人材採用担当者交流
- ・学生との交流会／留学生との交流会 **新規事業**
- ・プロスポーツチームとのマッチング
(現役アスリート・引退後のセカンドキャリア支援) **新規事業**
- ・留学生の企業訪問会

3. 人材確保・活用支援

(3) 中小企業人材確保支援

- ・専門家派遣
- ・動向調査(現役大学生の就活動向・外国人採用に伴う企業動向)

新規事業

(4) 認知度向上支援

- ・採用PR動画制作応援プラン
- ・採用動画集約サイト「CAREERTUBE」の掲載



事業案内を希望の方は
こちらからダウンロード

4. 任期制自衛官向け業界研修、人材マッチング事業

(1) 業界研修

説明会を通じて各業界について理解を深め、就職する際のミスマッチを解消することを目的に開催する。

対 象	任期制自衛官(20代が中心の自衛隊新卒) 任期修了後、民間企業への就職を目指す自衛官
開 催 時 期 場 所	5月～6月に実施 真駒内駐屯地、島松駐屯地、東千歳駐屯地、滝川駐屯地、札幌駐屯地

(2) 人材マッチング事業

当所会員企業と、就職を目指す自衛官との人材のマッチングを目的に、自衛隊就職担当者との個別相談会等を開催する。

VII. 11部会共通事業

5. カーボンニュートラルの推進

・省エネ・再エネ支援相談窓口の設置

地域における中小企業等の省エネルギー等にかかる相談窓口を設置し、中小企業のカーボンニュートラルの取組みを支援する。

6. DX(デジタルトランスフォーメーション)の促進支援

急務となる事業者のデジタル化対応に向け、セミナーによる情報提供や、専門家を通じた個社支援を通じ、中小企業のデジタル化・DX化を推進する。

(1)DX経営診断事業

(2)生成AI活用セミナー、ITソリューション展示会 等

7. 部会親睦・交流(部会役員親睦ゴルフ大会 等)

業界課題の解決や技術の連携、他業界との親睦を目的に、他部会・分科会との交流・意見交換を積極的に実施する。

8. 会員表彰式・新春交歓会の実施

9. 情報提供(部会ニュースの発信 等)

6. おわりに

一部の会員だけでなく
多くの会員が参画できるような部会

会員が事業を通して、皆様と一緒に
経済活動ができるような部会

経済の活性化